

「鳥取県立博物館の今後の施設整備のあり方に関するアンケート」 の結果等及び今後の対応

平成27年3月31日

担 当 課	博物館
担 当 者	黒見
連 絡 先	0857-26-8042

1 アンケート結果を反映した事業の状況

鳥取県立博物館の今後の施設整備のあり方について検討する資料とします。

2 記述意見に対する対応方針

<設問> 県立博物館について新たな施設を整備する場合、どのようにするのが良いと思いますかの間に対する選択肢以外の自由意見

選択肢1：美術分野のための新たな施設を整備（現在の施設は自然分野と歴史・民俗分野のための施設に改修）

選択肢2：自然分野のための新たな施設を整備（現在の施設は美術分野と歴史・民俗分野のための施設に改修）

選択肢3：歴史・民俗分野のための新たな施設を整備（現在の施設は美術分野と自然分野のための施設に改修）

意 見	対応方針
(新たに整備するという御意見) ・分館を設置する。 ・美術、自然、歴史・民俗の全分野を新たに整備する。 ・現在の施設は自然、民俗分野のための施設に改修し、美術、歴史分野のための新たな施設を整備する。	鳥取県立博物館の今後の施設整備のあり方について検討する参考資料として活用します。
(既存施設等を活用するという御意見) ・既存のビルや施設等を活用する。 ・収蔵庫を別のところに確保する。 ・歴史・民俗分野をやまびこ館に移し、現在の施設は、美術と自然分野の施設とする。 ・歴史・民俗分野は市町村に移設する。	
(現状維持とする御意見) ・現在のままでよい。建て直すと県民の負担となる。 ・現在の施設を改修して使用する。	
(その他) ・よく分からない。 ・来館者の要望を調査する。 ・一概には決められない。	

<設問> 前問でそのようにするのが良いと考えられた理由、そのようにする場合に留意してほしい事項などについて自由記載

意見	対応方針
<p>(新たに整備するという御意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術専門の施設がないので、特別展等大型スペースが必要な美術分野を整備する。 ・全国的な名品を子どもたちも気軽に楽しめることができる美術館を整備する。 ・自然と歴史分野は方向が似通っており、久松山のふもとは鳥取の自然、歴史そのものであるので現施設に残し、美術分野の施設を整備する。 ・現施設では、美術と歴史・民俗を結びつけた展示を行い、大きな施設が必要な自然分野の施設を整備する。 ・鳥取県は自然豊かで、ジオパークもあり、もっと自然分野に力を入れるべきであり、自然分野の施設を整備する。 ・鳥取ならではの歴史や民俗の貴重品をゆっくり鑑賞したいので、歴史・民俗分野の施設を整備する。 	<p>鳥取県立博物館の今後の施設整備のあり方について検討する参考資料として活用します。</p>
<p>(新施設を整備する場合についての御意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術的作品を増やしてほしい。 ・前田寛治等の画家をPRすべきである。 ・ゆったり鑑賞できるようにしてほしい。 ・行きたくなるような魅力的な場所にしてほしい。 ・体験型の展示や家族で楽しめるようにしてほしい。 ・人の集う場所として飲食スペースや専門店の導入も検討すべきである。 ・小中学校の遠足、社会科見学に活用すべきである。 ・駐車場を確保する。 ・必要性とされる施設であるのか検討が必要である。 ・現在県内に存在するものと同様なものでは存在する意味がない。 ・県の規模から考えてコンパクトにする。 ・国立公園砂丘近隣に整備し、観光客利用を促進する。 ・鳥取市に整備する。 ・中部に整備する。 ・地域に分散させることが必要である。 ・新たに整備する施設は、現在の博物館から徒歩で行ける近隣に整備する。 ・最低限の費用で対応すべきである。 ・来館者が増えるように税金を大切に使ってほしい。 	
<p>(現在の博物館についての御意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場が少ない。 ・獅子舞、湖山池のいしがま漁の資料が展示されていない。 ・中西部の人は、行くのに費用がかかる。 	